



清流大学入学式・始業式

4月22日に令和3年度清流大学の入学式並びに始業式が行われました。在校生22人、研究生に3人が進学され、新年度をスタートさせました。

また、今年度も公開講座を計画しています。清流大学の雰囲気を知りたいなど、興味のある方はお気軽に教育委員会 ☎(56) 2183 までお声掛けください。



郵政創業150年を迎えました

「郵政創業150年」を迎え、上川地区連絡会 荒井占冠郵便局長が5月18日に訪問されました。地域との連携強化と「郵政創業150年」のPR協力依頼として、記念切手とこれまでのあゆみを編さんした社史をいただきました。



日本郵政「郵政創業150年」ページ



富良野ブルーリッジが訪問

4月30日に富良野地域で発足した球団「富良野ブルーリッジ」の選手が訪問されました。北海道独立リーグに加盟し、野球を通して夢と希望をもった若者を応援することで、地域に関わり未来の扉を開く担い手づくりを目指しています。



ユニホームには「占冠」の名前も



こいのぼり作ったよ！

4月30日に占冠保育所でこどもの日に合わせて端午の節句が行われました。紙芝居や大きなかしわの葉を用いたゲームを行い、おにいさん・おねえさんと春に入園したひよこ組の子たちが力を合わせて慎重にボールを運んでいました。この日に合わせて「こいのぼり」も作成しました。



ベンさんありがとう

英語指導助手（ALT）のベンジャミン・ベリンスキーさんが任期を終えて5月21日にアスペンに帰国されました。みなさんへ感謝のメッセージです。

占冠村の皆さんへ、同僚たちへ、友人たちへ、すべての素敵な家族たちへ、そして僕の素晴らしい生徒たちへ。心の底から感謝を申し上げます。初めて占冠に戻ってきたときから1年と少しが経ちましたが、僕は日々を精一杯大切に過ごしてきました。毎日が笑顔と幸せと、たくさんの学びや成長の機会にあふれていました。毎日が、このコミュニケーションのために働くことのできる特権や名誉のように感じられ、僕はこの絆を誇りに思っています。毎日の英語の授業を、熱心な生徒たちと楽しむことができました。そして毎日、僕の生徒や

同僚たちは、常にベストを目指す姿勢をみせてくれました。僕は占冠の人々に強く心を動かされました。すべての皆さんから本当にたくさんのことを教わり、本当にたくさんの幸せをいただきました。僕を気にかけてくれて、家族に迎え入れてくれて、手作りの料理を玄関まで届けてくれて、一緒にスポーツやゲームをしてくれて、そして人としての価値に気づかせてくれました。もちろん今年が世界中の誰にとっても非常に大変な時期であり、新型コロナウイルスのせいで多くのことが普段と違っていただけは理解しています。それでも頑張り、いこうと決意できたのは、皆さんの優しさや愛情のおかげでした。



世界中の人々の間に芽生える友情がどのようなものであるかを示す、とても良い例だと思えます。僕はここで本当にかさねるような人々と出会いました。この貴重な関係は絶対に忘れません。皆さんの人生の一場面は、今では僕の人生の一部でもあります。皆さんの表情、笑顔、寛大なものの考え方やふるまい、どこへ行っただとしても、僕は皆さんの思い出とともにあります。

この関係を、僕がもっているイメージで表すと、美しい庭に生えているとても大きなカエデの木（もしくはアスペンの木）のようなものです。その木は十分に手をかけて、水を与えてやる必要があります。根は深く、美しい葉

また、僕はアスペンと占冠には、極めて特別な関係があるとも思っています。アスペン・占冠姉妹都市交流はとりわけ力強く、この歴史的な関係において親善を取り持つ役割を務められたことを光栄に思います。僕はこの関係ができる限り長く続いていくことを望んでいます。占冠とアスペン、双方の皆さんのお力添えがあれば、必ずできるものと確信しています。



来年にもなれば、僕はまた占冠を訪れたいと思うでしょう。アスペンの僕の家族も、占冠の皆さんにお会いして、さらなる思い出を分かち合うことを楽しみにしています。占冠の学生たちに関しても、アスペンで再会できることを考えるとワクワクします！